

veniabilis, e, *adj.* [venia + abilis] 許し得る。
veniālis, e, *adj.* [venia] 1 寛大な, 慈悲深い。2 許してもよい, 恕すべき。【*peccatum veniale* 小罪。
vēnicula = *venucula*。
vēniī, *pf.* [vенеo]。
Venilia, ae, *f.* 1 海の妖精の名: 1 Daunus の妻, Turnus の母。2 Janus の妻, 妖精 Canens の母。
veniō, ire, vēni, ventum, *v.n.* 1 来る, 達する (a[de, ex] re in[ad] alqd, ad alqm, etc. c. *supin.* -um; c. *inf.* part. fut.). 2 帰還する。3 来襲する, 進撃して来る (ad [adversus] alqm.). 4 法廷に出頭する (contra alqm [alqd], pro alqo). 5 (時が)到来する, 近付く。6 (ある状態[立場]になる, 陥る (in [ad] alqd). e.g. in periculum, in calamitatem, in potestatem alcis, in odium, etc. 【*res venit ad manus [ad pugnam]* 接戦[合戦]になる。7 現われる, 出現する。【(res) mihi in mentem venit (ある事が)私の心に浮かぶ。(a) (作物が)成長する, 繁殖する, 繁茂する。(b) ...から出る, 由来する, ...の流れてある。(c) 生ずる, 起こる (特に usu venire 起こる)。8 (ある人の)所有になる, 帰属する (alcis). (a) (手紙, 報知などが)もたらされる。(b) (不幸, 禍が)襲う, 生ずる (alcis, ad, in alqm). 9 (談話が)ある事に及ぶ, 言及する (a re ad alqd).
venire¹, *inf.* [venio]。
vēnire², *inf.* [vенеo]。
Vennōnius, i, *m.* ローマ人の氏族名, ことにローマの一史家。
vennū(n)cula = *venucula*。
vēndō, *adv.* [venus¹ の dat.] 売りに出されて。【~ do = *vendo*】。
vēnor, āri, ātus sum, *v.dep.n., a.* 1 狩りに行く。2 狩る, 獲ようと努力する, 追求する, ねらう (alqd または alqm).
vēnōsus, a, um, *adj.* [vena] 1 静脈の多い。2 葉脈の多い。3 (医) 静脈...
venter, tris, *m.* 1 腹, 下腹部。2 胃。3 臓腑。4 母胎, 胎児。【*ventrem ferre* 妊娠している。5 貪食, 貪欲。
Ventidiānus, a, um, *adj.* [Ventidius] Ventidius の。
Ventidius, i, *m.* ローマ人の氏族名; ことに P. Ventidius Bassus, Parthia 人を破った人 (A.C. 38).
ventilābrum, i, *n.* [ventilo] 穀物をおおぎわける道具, 箕(?)。
ventilātiō, ōnis, *f.* [ventilo] 1 通風, 換気。2 穀物のおおぎわけ。3 正邪の判定。
ventilātor, ōris, *m.* [ventilo] 1 あおぎわける人。2 正邪の判定者。3 手品師。4 攪乱者。
ventilō, āre, āvi, ātum, *v.a.* [ventulus] 1 空中に投げる, 空中で振り回す。【*se ~ in om-*

nem ventum あらゆる気分にかまける。2 (涼)風を送る, あおぐ, あおぎわける。3 あおる, 挑発する。4 論[探]究する。【着。2 発生。
ventiō, ōnis, *f.* [venio] 1 入来, 到来, 到
ventitō, āre, āvi, ātum, *v.freq.n.* [venio] たびたび来る, 来ることを常とする (ad alqm, ad または in alqd).
ventōsitas, ātis, *f.* 1 (医) 鼓腸。2 くだらぬ自慢, 大言, うぬぼれ。
ventōsus, a, um, *adj.* [ventus] 1 風の多い, 風の吹きがちな。2 (風のように)速やかな。3 空虚な, うぬぼれた。4 変りやすい, 軽薄な。
ventrāle, is, *m.* [venter] 腹巻, 腹帯。
ventrālis, e, *adj.* [venter] (医) 腹側...
ventricōsus = *ventriosus*。
ventriculus, i, *m.dim.* [venter] 1 小さな腹。2 (医) 空洞, 胃。【~ cordis 心室。【~ lateralis 側脳室。
ventriōsus, a, um, *adj.* [venter] 大きな腹
ventrōsus = *ventriosus*。【の。
ventulus, i, *m.dim.* [ventus] 静かに吹く風, 微風, 軟風。
ventūrus, a, um, *fut.p., p.a.* [venio] 来ようとする, 将来の。
ventus¹, a, um, *p.p.* [venio]。
ventus², i, *m.* 1 風, 空気。【*venti ferentes* 順風。2 運, 状態, 事情。3 人気。4 あらし。5 不安, 不幸。6 (悪い)風評。
vēnūcula, ae, *f.* (植) 一種のブドウ。
vēnum, i, *n.* [venus¹] 売り, 販売。
vēnūncula = *venucula*。【販売。
vēnundātiō, ōnis, *f.* [venundo] 売ること,
vēnundatus, a, um, *p.p.* [venundo]。
vēnundedi, *p.p.* [venundo]。
vēnundō, are, dedī, datum, *v.a.* [venum + do] 売る, 売りに出す。
vēnus¹, i, *m.* 売却。1 (acc.) *venum do* = *vendo* 売る。2 (acc.) *venum eo* = *veneo* 売られる。3 (dat.) *veno do* = *vendo* 売る (alcis alqd).
venus², neris, *f.* 1 愛, 愛欲。2 愛人(女)。3 美, 魅力, 美容, 優美。4 (動) ビノスガイ(美之主貝)属。
Venus³, neris, *f.* [venus²] 1 恋愛の女神, Cupido と Aeneas との母; ギリシア神話の Aphrodite に当たる。2 (天) 金星。
Venusia, ae, *f.* Lucania と Apulia との境の町, 詩人 Horatius の出生地 (現 Venosa)。
Venusinum, i, *n.* [Venusinus] Venusia にある Cicero の別荘。【sia の。
Venusinus, a, um, *adj.* [Venusia] Venu-
venustās, ātis, *f.* [venus²] 1 美, 美しさ, 愛らしさ, 優美, 魅力 (alcis, alcis rei)。2 繊細, 敏感。3 快樂, 満足。【に, 美しく。
venustē, *adv.* [venustus] 魅惑的に, 優美
venustō, āre, *v.a.* [venustus] 美しくする, 美化する, 飾る。

venustulus, a, um, *adj.dim.* [venustus] かわいらしい。
venustus, a, um, *adj.* [Venus²] 愛らしい, 美しい, 優雅な, 魅力ある。
vē-pallidus, a, um, *adj.* [ve-²] (死人のように)蒼白な, まっさおな。【さな茂み。
veprēcula, ae, *f.dim.* [vepres] イバラの小
veprēs, is, *comm.* イバラの茂み。
veprētum, i, *n.* [vepres] イバラの垣根, イバ
vepris, is, *m.* = *vepres*。【ラの茂み。
vēr, vēris, *n.* 春, 春季。【~ *sacrum* 聖春 (非常時に春の初穂を奉納する祭)。
vērācītās, ātis, *f.* [verax] 誠実, うそをつかないこと, 真実。
Veragri, ōrum, *m.pl.* Gallia Narbonensis の一種族。
vērātrum, i, *n.* (植) シュロソウ属(ユリ科)。
vērāx, ācis, *adj.* [verus] うそを言わない, 誠実な。
verbālis, e, *adj.* [verbum] 1 言葉の, 口頭の; 逐語的な。2 (文) 動詞的な。【グザ科)。
verbascum, i, *n.* (植) ニワタバコ属(ゴマノハ
verbēna, ae, *f.* 1 (植) クマツヅラ属。2 (主に *pl.*) (宗教目的に供した)若枝[小枝](オリブ・ミルテ・月桂樹などの)。
verbēnāca = *verbena*。
verbēnātus, a, um, *adj.* [verbena] (神聖な)小枝の冠を付けた。
verber, eris, *n.* 1 むち。2 打つこと, むち打ち, 笞刑。3 非難。4 投石機の長ひも。
verberābilis, e, *adj.* [verbero] むち打つべき。【ち打つ。
verberābundus, a, um, *adj.* [verbero] む
verberātiō, ōnis, *f.* [verbero] 1 打つ[たたく]こと。2 (刑)懲罰。
verberātus, ūs, *m.* = *verberatio*。
verberetillus, i, *m.* [verbero] 1 むち打つこと。2 他人の罪を負う者, 身代り。
verbereus, a, um, *adj.* [verbero] むち打たれるにふさわしい。
verberō¹, āre, āvi, ātum, *v.a.* [verber] 1 打つ, むちで打つ; 苦しめる, 折檻 (alqm, alqd)。2 (tormentis) 攻撃する。3 暴言を浴びせかける。4 ぶつかる, たたく, 突く。
verberō², ōnis, *m.* [verberō¹] むち打たれるにふさわしい者, ごろつき, 無頼漢。
verbēx = *vervex*。【区域。
Verbigenus Pāgus, i, *m.* Helvetia の一
verbigerō, āre, āvi, ātum, *v.n.* [verbum + gero] 話す, 論ずる, 用談する。
verbivēlītātīō, ōnis, *f.* = *velitatio*。
verbōsē, *adv.* [verbosus] 言葉多く, くどくどと。
verbōsītās, ātis, *f.* [verbosus] おしゃべり好き, 駄弁, 冗舌, 多弁。
verbōsus, a, um, *adj.* [verbum] 言葉の多い, くどくどしい, 冗長な。

verbō-tenus, *adv.* 言葉通りに, 名目上は。
verbum, i, *n.* 1 言葉, 語, 表現。pl. 言葉, 談話, 陳述。【*verba facere* 語る (de re, pro alqo)。2 陳述, 意見; 箴言, 格言。3 空言, (単なる)言葉のあや, 虚構。【*alci verba dare* ある人を欺く。4 呪文。5 (文) 動詞。6 (副詞的用法) (a) 【*verbo* 口頭で, 簡単に, 無造作に。(b) 【*ad ~* 言葉通りに (= *verbum pro verbo*)。 (c) 【*verbi causā [gratiā]* たとえば。(d) 【*verbis alcis* ある人の名において, ...に代って。7 聖言, ロゴス, 聖子(三位一体の第2位たるキリスト)。【の町。
Vercellae, ārum, *f.pl.* Gallia Cisalpina
Vercingetorix, igis, *m.* Gallia 戦争における Arverni 族の首領。
vērculum, i, *n.dim.* 陽春(親しみを示す語)。
vērē, *adv.* [verus] 真に, 正しく, 公正に, 正当に, 実際通りに, 真実に。
vērēcundē, *adv.* [verecundus] 恥ずかしがって, はにかんで, 内気に, 控え目に。
verēcundia, ae, *f.* [verecundus] 1 内気, 控え目, 臆病 (alcis, alcis rei)。2 畏敬, 尊敬。3 羞恥心, 心のやさしさ, 儀礼観念。
verēcundor, āri, ātus sum, [verecundus] 恥ずかしがる, はにかんでいる (c. *inf.*)。
verēcundus, a, um, *adj.* [vereor] 1 恥ずかしがる, 控え目の, 遠慮がちな, 内気な (in re)。2 尊敬すべき。
verēdārius, i, *m.* [veredus] 1 文使い, 飛脚。2 うわさ好きの人。【用の(駿)馬。
verēdus, i, *m.* 1 駅馬, 旅行用馬。2 狩猟
verenda, ōrum, *n.pl.* [verendus] 陰部。
verendus, a, um, *adj.* [vereor] 1 恐ろしい。2 畏[尊]敬すべき。
verēns, entis, *comm.* (p.a.) [vereor] 恐れている者, おおずする者, 敬っている者。
vereor, ēri, veritus sum, *v.dep.* 1 恐れる, はばかる, 逡巡する, 敢てせぬ (c. *inf.*)。2 (ある人)を畏敬する, 尊重する (alqm)。3 (ある事)を恐れる, 気づかう, ...の恐れがある (alqd, c. ne, ne non, ut, acc. c. *inf.*)。4 心配する (ある事のために (alcis rei) ある事について (de re))。
verētrum, i, *n.* [vereor] 陰部。
Vergilia, ae, *f.* ローマ女の氏族名。
Vergiliae, ārum, *f.pl.* (天) ズバル星(雄牛座中の星団) (= Pleiades)。
Vergilius, i, *m.* ローマ人の氏族名; ことに詩人 P. Vergilius Maro; Aeneis の作者としてよく知られる (A.C. 70-19)。
Verginius, i, *m.* ローマ人の氏族名。
vergō, ere, versī, *v.n., v.a.* I. *v.n.* 1 傾く, 沈む (a re ad [in] alqd)。2 向っている, 延びている, 位置する。3 (時) 終りに近づく。4 衰える。5 (精神的) 専心する。II. *v.a.* 1 傾ける, 向ける。2 注ぎ込む (alqd in rem)。
vergobretus, i, *m.* Gallia の Aedui 族の最高行政官の称号。